

(株) TBS サービス「またかな」製作委員会

川上孝裕様

群馬県強戸中学校 教頭の宮崎孝宏です。

このたびは、本校全生徒、そして全教職員で映画を鑑賞する機会をありがとうございました。今回の上映は、生徒会企画と位置づけて実施させていただきました。上映の前後は、教員が前面には出ず、生徒会本部役員の挨拶やコメントで運営いたしました。

学校ホームページ内の「学校ブログ」にも紹介させていただいた上で、学校長作成の学校通信「強戸中だより」の中にも紹介させていただきました。

生徒会作成のポスター、当日の様子、強戸中だより、生徒の感想の一部を添付させていただきました。

なお、上映当日は、学校上映プロジェクトの協力者でもある 関みや子様も 会場である本校体育館に駆けつけてくださり、生徒や職員とともに映画を観ていただきました。

太田市立強戸中学校ホームページ

<http://www.ota.ed.jp/godo-j/>

強戸中 生徒会企画
全校映画上映会 12月22日に決定!

全国の中高校生へ
笑いど涙の心温まる
バリアフリー映画を...

「また、必ず会おう」と誰もが言った。

佐野岳 初主演映画

©2013「またかな」製作委員会

この映画を通して“これまでの自分を見つめ、未来の自分の姿を考える。”そんなきっかけにしたいと思っています。そして、普段意識せず忘れてしまっている「大切な存在」「命の尊さ」を感じてほしいという願いをこめ、この強戸中全校映画上映会を企画しました。【強戸中 生徒会本部】

映画製作プロデューサーからのメッセージ
すべての学生へ、この映画を贈ります。勉強や友人関係に行き詰まっていると感じる君へ、今の生活、自分に満足出来ない君へ、一歩踏み出す勇気が欲しい君へ、目的意識や、将来の夢が持てない君へ、家庭環境、親子関係に悩む君へ、ただ笑顔と涙となく日々を送る君へ、この様な学生の心に、きっと何か響き、届いてくれると信じています。時には、“生きようとする勇気”さえも与えられる映画だと思えます。人との出会いや繋がりを大事にし、人間として大切なものを君でんもたらえたら本望です。 川上孝裕

2学期の最終日は、1・2時間目が授業
3・4時間目が映画、給食を食べて、
午後の終業式となります。

12月22日 終業式の日
3・4時間目に体育館で上映
みなさん
終業式の日を
お楽しみに 生徒会本部



強戸中だより



【教育目標】 たくましく思いやりの心に満ちた
人間性豊かな生徒の育成

平成27年12月22日
NO. 28

実り多き2学期が終了します

本日で2学期が終了します。2学期は行事等も多く、生徒たちの素晴らしい頑張りとともに、輝く笑顔がたくさん見ることができ、充実した学期でした。保護者・地域の皆様には様々な場面でご理解とご協力をいただきました。大変ありがとうございました。

本日、終業式に先立ち、3、4校時に全校で映画「また、必ず会おうと誰もが言った」を鑑賞しました。この映画は、生徒達の「生き方」「あり方」を考える良い機会にとらえ、多くの方のご支援をいただき、上映ライセンスを取得しました。映画は喜多川 泰さんの同名小説を映画化したもので、主人公である地方で暮らす高校生が、自分のついたウソから始まった旅の途中で出会う様々な人々との交流を通して、自分の「生き方」「あり方」を振り返ったり、人生にとって大切なものとは何かを考えたりしながら成長していく姿を描いています。登場する人々が自分の人生の経験から得た「家族」や「命」「仕事」「夢」「友達」など、大切なことを、主人公の高校生に「言葉」や「行動」で、時には厳しく、時には優しく伝えていく場面がたくさんあり、見ている強戸中の生徒達にもそのメッセージが伝わったのではないかと思います。

年末を迎え、これまでの自分を振り返り、新たなスタート切るための良い機会になったと思います。ぜひお子さんからも、映画を見た感想を聞いていただければと思います。



終業式講話より



終業式で生徒には、3学期に向けて、次ような話をしました。(一部抜粋)

まずは**健康第一**です。暴飲暴食になりがちな時期です。また外出も多くなることも考えられます。体調管理には十分気をつけましょう。また、交通事故にも十分気をつけて下さい。

二つ目は、**年末年始だからこぞできる体験**をして下さい。年末やお正月の伝統的な行事や習慣を体験することや、家の掃除や家事の手伝いなど、家族や親戚の人などと過ごす時間を大切にしたいと思っています。少し携帯電話やスマートフォン・ゲーム機と離れる時間も意識して作りましょう。

3年生は年明けすぐに、私立高校受験が始まるので、遊んでばかりはられないと思いますが、こうした時間を上手く活用してリフレッシュしてください。

三つ目は、自分を見つめ直す良い機会です。新しい年を迎えるあたり、この一年を振り返りながら、**新たな夢や目標を持ち、チャレンジ**しましょう。

皆さんは「なりたい自分」になれます。こんな風になりたいという自分の姿を思い描き、できれば紙などに書いて見えるところに貼っておきましょう。その紙を見て常に意識して行動することが大切です。「自分にはどうせ無理だ」と思ったら夢や目標はそこで終わってしまいます。逃げない、最後まで諦めないことの大切さを、多くの皆さんが2学期の生活や行事の中で学んできました。勝ち負けよりも、仲間と協力して、最後まで精一杯頑張ることの達成感や充実感も2学期に体験してきたはず。恐れることはありません。一生懸命にやっていたら、困ったときには仲間がきっと支えてくれます。強戸中はそんな仲間がたくさんいる学校です。また、家族や先生方もきっと応援してくれます。

今日上映した映画を見て、自分の夢や目標を持って前向きにそして正直に生きることやたくさんの人との出会いや関わりの中で「命」「家族」「仲間」を大切に生きていくことの素晴らしさを感じとった人もたくさんいたはず。です。

「他人と過去は変えられない、自分と未来は変えられる」といいます。

自分に自信を持ってチャレンジして下さい。3学期の始業式に、希望に満ちた皆さんにまた、会えることを楽しみにしています。

第49回 五地区学校新聞コンクール PTA新聞の部 PTA新聞「つどい」が「入選」受賞

伝統ある五地区（太田市、館林市、桐生市、佐野市、足利市）学校新聞コンクールにおいて、本校のPTA新聞「つどい」が、記事の内容や割り付け、デザインなどが総合的に評価され多くの応募作品の中から「入選」となりました。おめでとうございます。

広報部の役員・担当職員の皆さんが夜遅くまでの編集会議を行い、記事の依頼、執筆、校正などに熱心に取り組んでいただいた成果だと思えます。本当にありがとうございました。今後もぜひ素晴らしいPTA新聞づくりをよろしくお願いいたします。

活躍する強戸中生

○中学生の税についての作文 太田地区納税貯蓄組合連合会長賞 2年 小島 理愛さん

○「少年の日」「家庭の日」普及啓発コンクール 標語の部 入選
1年 並里 竜維くん、木暮 奏空さん、2年 斉藤 京達くん

○第37回 防犯ポスターコンクール 努力賞 1年 山銅 隆天くん

○明るい選挙啓発ポスターコンクール 佳作 3年 阿久津 汐莉さん

○第48回諸外国交換ユネスコ児童生徒作品展示会

太田東ライオンズクラブ会長賞 2年 飯塚 真生さん 協力賞 2年 大澤 奈甫さん
1年 正田 萌乃さん

○「新田山にあそぶ」野外美術館

新田山賞 1年 廣田 風花さん、橋本 采音さん、大谷 萌絵さん、権田 有生くん
2年 加藤 愛菜さん

新田山賞 3年 黒澤 梨桜さん、樋口 若奈さん、金井 黎奈さん

○「クレヨンの会」ボランティア感謝状

毎月第4土曜日に行われた障害を持つ方のプール利用のお手伝いとして、参加をしてくれた皆さんに感謝状が届きました。進んでボランティア体験に参加してくれた皆さんご苦労さまでした。

2年 田中 龍之介くん、3年 岩崎 優果さん、七島 花楓さん

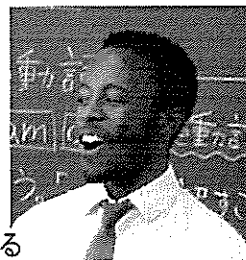
ターボ先生お元気で

4月よりALT（英語指導助手）として、勤務していただいたターボ先生が、都合により帰国することになりました。日本語も上手で、明るく生徒にも人気のあった先生とお別れするのはさみしい限りです。ターボ先生もまた、いつかまた、日本に来たいと話していました。ターボ先生から生徒の皆さんにメッセージをいただきました。紹介します。

『みんなより少し早く学校を終わることになりました。ごめんなさい。南アフリカでなければならぬことがあるので、帰ることになりました。ここでは、みんなととても良い時間を過ごすことができました。

みんなは、とても頭が良い子ども達で、日本の未来を担っています。

みんなが、これから一生懸命勉強をして日本をよりよい国にしていけることを願っています。また、いつかあいましょう。ありがとうございました。』



映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』 (感想)

3年 氏名

主人公が旅先で出会った様々な人に影響され、自身も変わり、新しい様子は、見ていてとても応援したかった。代受の事を知り、泣いてしまっていた主人公だけじゃなく、最後には、親に正直に話せていて、安心した。更に母親と離れて暮らす少年を母親のところに送り届けたときには、今までたくさんの人々にしてきていた事をその子へ返しているように、成長を感じられた。初めに原作者の方が「言っていた通り、人を成長させるものは、人々との様々な出会いを経験なのだ」と思わされた。私もこれから、たくさんの人々や出会い、成長していけるといいと思った。あと、人との別れのときは、もう会えないと分かっていても「また会おう」と言いたいと思えた。

映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』 (感想)

3年 氏名

私はこの映画を見て、人は人から大切なものを学んだり、教えたり、手助けしたりして、生きているんだなと思いました。人にはたくさんの性格や個性、良い所、悪い所があって、それは自分を苦しめたりするけれど、それをのりこえらることで、自分の事を好きになれよんた」という事がわかりました。誰も一人では全ての事をのりこえたり、立ちあがったりはできないという事もわかりました。今日この映画を見て、とても良かったです。旅は色々な人に出会って、自分自身を成長させてくれるとても素晴らしいものなんだなと思いました。「また会おう」と言われたら、「丁度」といわれよより、ずっとしにひかく、良い言葉なんだなと思いました。人生には良い人や悪い人、様々な人に出会う事ができ、おもしろいものなんだなと思いました。

映画『「また、必ず会おう」と誰もと言った。』（感想）

3年 氏名 [REDACTED]

私はこの映画を観賞して、人とのつながりの大切さや、家族の絆などを主人公の香月和也の人としての成長を通して、改めて知ることができました。特に人とのつながりの大切さは主人公の周りの人々が厳しくも心温まる優しい人ばかりで、主人公があんなに変化したのは、本当に周りの人々のおかげだなと思いました。

映画『「また、必ず会おう」と誰もと言った。』（感想）

3年 氏名 [REDACTED]

今日の映画をみて、周りの人のありがたみがわかりました。途中ででてくる田中さんや柳下さんは厳しいけれど自分に必要なことをたくさん教えてくれました。日頃自分と向き合う時間はたくさんあったけれど、周りの人と向き合うことは少ないので周りの人ともっと関わって大切にしていきたいと思いました。相手の気持ちを考えてくれる人になりたいです。

映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』（感想）

3年 氏名

この映画に出てくる人物は、皆性格が厳しくて、主人公に優しく接してもいなかったけれど、意味の深い言葉を言っていたり、厳しく見えていたお陰で、主人公も過去の行いを振り返り、見直す事ができて、新しい自分の生き方を見つけられたと思った。映画に出てきた「享平」と言われる子に「もう一度お母さんに会って、あはつしに行け」と促す場面を見て、主人公は成長したな、と感じられた。

映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』（感想）

3年 氏名

うそをついてばかりだった主人公が初めて出会った人から、厳しいけれどあたたかい言葉をたくさんもらい、考え方が少しずつ変わっていくという、笑いあり、涙ありの映画でした。一人で遠くに出かけ、財布を盗まれてしまっている人がいても、私は手をさしのべられないでゴソゴソ話をするだけの人かもしれません。「誰かが困っていたら助けたい。」と改めて思いました。知らない人でも、その人たちのおかげで家に帰ることができていたので、心のあたたかい人になりたいと思いました。決して、映画に出てきた医者やおばさんのようにはなりたくないです。

映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』 (感想)

3年 氏名

私は、この映画を見て「人とのつながり」の大切さをもう一度思い知らせました。主人公のカズヤは、嘘をつくことばかり平気でいる、ごく普通の高校生でした。ある日、同級生たちは、一つの「嘘」をういてしまえば、東京に行くことになり、そして、知らない彼を見て、私は「この人は馬鹿じゃないか?」と思いました。嘘をついて取り返しがつかなくなってしまう前に、何かを言おうと決心しました。一つは、この一つの嘘が、大切なものを、教えてもらう「きっかけ」になること。これは、良かった人かと思いました。彼は彼の先で、沢山の人のために、話し、教える、手助けをする。彼はしたいに、変わっていき、助け合う存在、人を助けていく存在になりました。私も、カズヤの存在に、嘘をついて取り返しがつかなくなってしまうことばかりではなく、この映画を見て、変わっていくカズヤを見て、自分も彼の存在に変われるかもしれないと思いました。そして、この映画を見た。

映画『「また、必ず会おう」と誰もが言った。』 (感想)

3年 氏名

耳の不自由な人たちのために字まくがついていたり、目の不自由な人たちのために一つの行動を言葉で説明したりしている映画を今回、初めてみた。

和せが東京から帰っている途中に出会った人たちは、みんなばかりで、知らない人とも助け合うことは大切だと思いました。

映画『「また、必ず会おう」と誰もと言った。』（感想）

1年 氏名

内容は、すごく濃くて良い映画でした。

うそを、つきばなれの17歳の少年がこんなところと人が変わったかのように、バのそ二が優しくなっていました。

自分も、うそをつくことは色々なことにずっとながっていて、いくと思うのび小さなひとつひとつ、うそも、気をつけて、改めて感じました。うそは、つきたくない！

たれかの支えが合って、今の自分がいるんだな。と感じました。家族の大切さ、友達大切さを実感しました。

この映画は、自分をふり返れるような内容でした。

自分は、お兄ちゃん、弟がいるので居るから自分は、何もできないな。と思いました。感動をしました。

この映画を見てとても良かったと思います！

映画『「また、必ず会おう」と誰もと言った。』（感想）

1年 氏名

この映画を見て私は、主人公は、いい思い出作れて良かったなと思いました。

最初は、皆に言っていました、「うそ」も本当にしようと思、て軽い気持ちで旅をしていたのが、いろんな人に出会って、

人の温みや親切さなどを感じながら成長していく主人公が

とても良かったと思います。そして、最後には、自分が人にやさしい事を

するというのがとても立派になれたな、少しは自立したなという感じが、出ていてよかったです。

得に、デコトラの運転手の方が一番人生に大切なことを教えてくれたと思います。

とてもいい映画でした。

映画『「また、必ず会おう」と誰もと言った。』（感想）

2年 氏名

音声と字があたので、耳や目が不自由な人でも楽しめる映画だな
と思いました。映画を見て、人生はなんとなくでは生きていけな
いなだなと思いました。普段私達がなんとなくで人生を送る
のは、親が私のために色々やってくれてるからなんだと思い、
感謝の気持ちが高まりました。とても良い映画でした。

映画『「また、必ず会おう」と誰もと言った。』（感想）

2年 氏名

トラックの柳下さんが、とてもいい人だなと
思った。

とてもやさしく、人生の大先輩なんだなと
思えるような、そんなかんじのふいんき
があって、きびしく世の中の常識につい
て教えてもらったり、いまあたりまえに
あるものが、人から与えてもらって
るものだなというのを
再確認した。

たいへん良い映画だったと思う。

映画『「また、必ず会おう」と誰も言った。』（感想）

1年 氏名

私はこの映画「また、必ず会おう」を見て、人の言葉の力、暖かい気持ち、すごいなと思いました。始めは、「うそ、ばかりついていた主人公が出会った人々の言葉、気持ちにふれていくうちに、素直な気持ちにもなれたし、また自分の本当の「居場所」もちゃんと出来たなと思いました。

私も、よく人の暖かい気持ちや、言葉にはげまされることがあります。しかし、私はあまり人にあたたかい言葉をかけてあげることが出来ないので、私もみんなにあたたかい言葉をかけたいと思いました。

香月 和也

映画『「また、必ず会おう」と誰も言った。』（感想）

1年 氏名

和也が様々な家庭と関わり、伸びていく様を見て、すごいなと思いました。旅中に出会った人々も、厳しいけれど、その人達の助言を得て、どんどん主人公である和也が成長していくのは、見ていてとても感動しました。友人達に嘘を吐いたのが、きっかけに柳下さんをはじめとした人と出会い、人としてのあり方を知り、生と死について考え、人間関係を知りました。人生は本当に色々なことから色々なことが起こるんだなと思いました。

私はこの映画を通して、他人の為に自分が何が出来るかという事を考えさせられました。「自分の責任にすれば、自分は自由」という柳下さんのセリフに心を打たれました……。